



《問い合わせ》

上野図書館 ☎ 21-6868 FAX 21-8999
 いがまち図書室 (いがまち公民館内) ☎ 45-9122
 島ヶ原図書室 (島ヶ原会館内) ☎ 59-2291
 阿山図書室 (あやま文化センター内) ☎ 43-0154
 大山田図書室 (大山田公民館内) ☎ 47-1175
 青山図書室 (青山公民館内) ☎ 52-1110

司書のおすすめ



■絵本

『こんたのさかなつり』

田中 友佳子／作・絵

くまおじさんと釣りに行くため、待ち合わせ場所に向かったこぎつねのこんたと弟のこんきち。寄り道しない約束だったのに、風に飛ばされたこんきちのぼうしを追いかけ、暗い森の中に入っていきまいた…。こんたのおつかいシリーズの第3弾です。

■一般書

『文豪たちのずるい謝罪文』

山口 諤司／著



■児童書

『魔法の絵筆としあわせの呪文』

あんびる やすこ／作・絵



■一般書

『昆虫のとんでもない世界』

丸山 宗利／監修

『ヒロシのソロキャンプ』 ヒロシ／著

『園芸道具の選び方・使い方「コツ」の科学』 園芸文化協会／著

■児童書

『はじめて出会う短歌 100』

千葉 聡／編、佐藤 りえ／絵

『おじいちゃんとの最後の旅』

ウルフ・スタルク／作、キティ・クローザー／絵

『イベントおりがみ』主婦の友社／編

■絵本

『サンドイッチにはさまれたいやつ

よつといで』 岡田 よしたか／著

『にんじはいぬタロー』 渡辺 陽子／作

『日本どっちからよんでも』

本村 亜美／文、高島 純／絵

図書館 (室) からのお知らせ

◆郷土の歴史夜咄会

【とき】 12月18日(金) 午後6時～7時30分

【ところ】 ハイトピア伊賀 5階多目的大研修室

【テーマ】 藤堂藩研究と久保文武

【講師】 地域誌「伊賀百筆」編集長 北出 楯夫さん

※来場の際は、上野図書館駐車場または市営上野公園第3駐車場(午後5時以降無料)をご利用ください。

◆こんなん知ってる? 伊賀に伝わるおはなしの会

伊賀地域に伝わる民話などを読み語ります。写真や絵と一緒に地元のおはなしを楽しみましょう。

【とき】 12月26日(土) 午後2時～

【ところ】 上野図書館 2階視聴覚室

【絵本読み手】 ボランティアグループ いがぐり、よもよも、ちいさなねこ

【対象】 小学生

※保護者同伴可

※3歳未満の子どもの入室は、ご遠慮ください。

【定員】 先着 10組程度

【申込受付開始日】 12月12日(土) 午前9時～

【申込方法】 電話または来館

【申込先・問い合わせ】 上野図書館

12月の読み聞かせ

絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びなどをします。(30分～1時間程度)

| とき | ところ | 催物(読み手) |
|---------------|--------|-------------------|
| 8日(火) 10:30～ | 阿山図書室 | 読み聞かせの会 (はあと&はあと) |
| 8日(火) 11:30～ | 青山図書室 | おとなカフェ |
| 12日(土) 10:30～ | 上野図書館 | おはなしの会 |
| | 大山田図書室 | おはなしたいむ (きらきら) |
| 15日(火) 10:30～ | 大山田図書室 | あかちゃんたいむ・ミニおはなし会 |
| 16日(水) 10:30～ | 上野図書館 | えほんの森 (よもよも) |
| 20日(日) 10:30～ | 阿山図書室 | 読み聞かせの会 (はあと&はあと) |
| 23日(水) 10:30～ | 上野図書館 | おひざでだっこのおはなし会 |
| 24日(木) 10:30～ | 青山図書室 | おはなしなあに? |

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加者の人数を制限しています。

詳しい情報はこちら



IGAMONO
セレクシオン
伊賀
No. 8



いちご大福

いちごは、主に伊賀産を使用し、形・大きさ・酸味をチェックした上で厳選しています。白あんは、北海道産を使用し、手間をかけじっくりと炊き上げた「自家製あん」です。いちご、白あん、餅が練り広げる三位一体の味をご賞味ください。



株式会社 欣榮堂
代表取締役 町野 晃巳さん

名阪国道中
瀬インターを下
りてすぐ、西
明寺にある欣
榮堂は、明治
34年の創業以

来、和菓子の製造販売を行っています。

欣榮堂のお菓子作りは、素材選びから始まります。季節のお菓子、和洋さまざまなアイデアを取り入れた新感覚なものまで、常に新しい商品を生み出しています。

平成25年2月にまちの駅に認定され、店舗横には休憩処もありますので、ぜひお立ち寄りください。



【問い合わせ】 商工労働課
22・96669 FAX 22・96695

「ウィークリー伊賀市」でも見られるよ！

【放送期間】

12月7日(月)～13日(日)



小・中学生のためのコラムです

こども広場

「国土強靱化」

国土強靱化という言葉聞いたことはありますか。簡単に言うと、「私たちの住むところを、もっと強くしなやかにしましょう」ということです。こういった意味があるのか考えてみましょう。

■日本は災害の多い国

自然は私たちにたくさん恵みを与えてくれますが、台風や地震のよ
うな災害をもたらすこともありま
す。多くの被害が発生し、人の命が失われ
るようなことも起こります。

日本は、毎年たくさん台風がきて、各地
で水害が起こっています。今年も熊本県を
中心に大きな被害がありました。

また、地震もたくさん起こっていて、世
界で起こった大地震のおよそ20%は日本が
震源です。特に大きな地震として1995
年の阪神淡路大震災、2011年の東日本
大震災、2016年の熊本地震などがあり
ました。

伊賀市でも、1854年の安政伊賀上野
地震や1953年の東近畿大水害など、大
きな災害が発生しています。

■災害が発生してしまつたら

今、大水害や巨大地震が発生すれば、私
たちのまちはどうなるのでしょうか。豪雨
災害や土砂災害は、いつ起こっても不思議
ではありません。今後30年以内に70～80%
の確率で南海トラフ巨大地震が発生する
といわれています。その時、何も備えをして
いなかったら、とても大きな被害が出るか
もしれません。

■災害を乗り切るために

最悪の事態にならないためには、過去の
災害の教訓を生かすことが大切です。「大
災害が発生しても被害を最小限にできるよ
うに強く、被害があつても速やかに復旧・
復興できるようにしなやかにまちづくりを
おこなうこと」が国土強靱化です。

そんな「強さとしなやかさ」を持った、
災害への備えのあるまちをめざして、市で
は「国土強靱化地域計画」の策定を進めて
います。

災害に強い防災・減災まちづくりについ
て、一緒に考えていきましょう。

【問い合わせ】

総合危機管理課
22・9640 FAX 24・0444